

--	--	--	--

混合物の理論最大密度計算表	試験用紙 報告
----------------------	------------

試料番号 S1-1(3.00m~3.70m) 試験年月日 2019年12月10日

SYSTEM21 最高級プロフェッショナル土質調査解析ソフト

調査名・目的 長年の実績で信頼と安定したソフトを実現 計算者 井上 幸子

混合物の種類 粗粒度アスコン

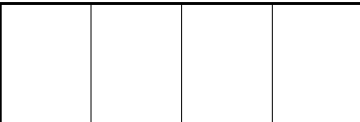
混合物の使用場所 歩道

①	②	③			④	⑤
骨材の種類	骨材配合率 (%)	骨材の比重			計算に用いる比重	$\frac{②}{④}$
		表乾	かさ	見掛		
砕石6号	25	2.712	2.523	2.325	2.712	9.218
砕石7号	28	2.715	2.521	2.322	2.715	10.313
SC	20	2.717	2.523	2.365	2.717	7.361
砕砂	11	2.719	2.543	2.325	2.719	4.046
細砂	12	2.676	2.521	2.256	2.676	4.484
石粉	4	2.720	2.522	2.325	2.720	1.471
$\Sigma ⑤ =$						36.893

⑥	⑦	⑧	⑨	⑩	⑪
アスファルト量 (%)	アスファルト の密度(g/cm ³)	$\frac{⑥}{⑦}$	$\frac{\Sigma ⑤ (100-⑥)}{100}$	⑧ + ⑨	理論最大密度 100/⑩
4.0	1.020	3.922	35.417	39.339	2.542
4.5	1.020	4.412	35.233	39.645	2.522
5.0	1.020	4.902	35.048	39.950	2.503
5.5	1.020	5.392	34.864	40.256	2.484
6.0	1.020	5.882	34.679	40.561	2.465

備考

- 理論最大密度 備考1
- 理論最大密度 備考2
- 理論最大密度 備考3
- 理論最大密度 備考4



マーシャル安定度試験 (その1-a)

試験用紙
報告

試験番号 S1-1(3.00m~3.70m) 混合物の種類 粗粒度アスコン 試験年月日 2019年12月10日

SYSTEM21 最高級プロフェッショナル土質調査解析ソフト

調査名・目的 長年の実績で信頼と安定したソフトを実現 混合物の使用場所 歩道 試験者 井上 幸子

バインダーの種類 ストレートアスファルト40/60 バインダーの比重 (A) 1.020 バインダーの温度 150 °C 骨材の温度 165 °C

突固め時の温度 135 °C 突固め回数 両面各 17 回 力計の係数 (f) 0.10 試験条件 ~~標準~~ 水浸

試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦ ⑧		⑨	⑩	⑪	⑫	⑬ ⑭		⑮	備考	
		バインダー量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中重量 (g)	水中重量 (g)	表乾重量 (g)	容積 (cm ³)	表見 乾本掛 論	密度 (g/cm ³)	バインダー容積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	力計の読み	安定度 (kN)	フロー値 (1/100 cm)		
							$B = \frac{⑤}{④}$ $C = ③ - ④$	$\frac{① \times ⑦}{A}$		$(1 - \frac{⑦}{⑧}) \times 100$	$⑨ + ⑩$	$\frac{⑨}{⑪} \times 100$		$f \times ⑬$				
標準・水浸	1	4.0	6.3	1156.1	669.6	1150.6	486.5	2.376		9.3	6.5	15.8	58.9	709	70.90	24		
	2		6.3	1156.1	669.6	1120.3	486.5	2.376		9.3	6.5	15.8	58.9	828	82.80	22		
	3		6.4	1149.3	665.5	1130.8	483.8	2.376		9.3	6.5	15.8	58.9	669	66.90	21		
	平均		6.33	1153.8	668.2	1133.9	485.6	2.376	2.542	9.3	6.5	15.8	58.9	735	73.53	22		
標準・水浸	4	4.5	6.3	1151.0	666.0	1150.3	485.0	2.373		10.5	5.9	16.4	64.0	894	89.40	25		
	5		6.3	1159.3	675.1	1130.0	484.2	2.394		10.6	5.1	15.7	67.5	841	84.10	23		
	6		6.5	1162.1	677.9	1150.4	484.2	2.400		10.6	4.8	15.4	68.8	1187	118.70	27		
	平均		6.37	1157.5	673.0	1143.6	484.5	2.389	2.522	10.6	5.3	15.8	66.8	974	97.40	25		

--	--	--	--

		マーシャル安定度試験 (その1-b)														試験報告用紙			
試験条件	供試体番号	①	②	③	④	⑤	⑥	⑦		⑧	⑨	⑩	⑪	⑫	⑬		⑭	⑮	備考
		バインダー量 (%)	供試体平均厚 (cm)	空中重量 (g)	水中重量 (g)	表乾重量 (g)	容積 (cm ³)	密度		理論 (g/cm ³)	バインダー容積 (%)	空隙率 (%)	骨材間隙率 (%)	飽和度 (%)	安定度		フロー値 (1/100 cm)		
								表乾	見掛						力計の読み	安定度 (kN)			
							B=⑤+④ C=③-④	⑤/③ B/B C		$\frac{① \times ⑦}{A}$	$(1 - \frac{⑦}{⑧}) \times 100$	⑨+⑩	$\frac{⑨}{⑪} \times 100$		f × ⑬				
標準・水浸	7	5.0	6.4	1173.0	685.1	1174.1	487.9	2.404		11.8	4.0	15.8	74.7	1406	140.60	28			
	8		6.3	1164.1	678.2	1172.2	485.9	2.396		11.7	4.3	16.0	73.1	929	92.90	29			
	9		6.4	1171.3	682.2	1173.5	489.1	2.395		11.7	4.3	16.0	73.1	982	98.20	26			
	平均		6.37	1169.5	681.8	1173.3	487.6	2.398	2.503	11.7	4.2	15.9	73.6	1106	110.57	28			
標準・水浸	10	5.5	6.3	1175.1	685.3	1176.5	489.8	2.399		12.9	3.4	16.3	79.1	1303	130.30	34			
	11		6.4	1167.2	682.1	1168.3	485.1	2.406		13.0	3.1	16.1	80.7	1077	107.70	30			
	12		6.4	1180.1	688.4	1182.7	491.7	2.400		12.9	3.4	16.3	79.1	1169	116.90	30			
	平均		6.37	1174.1	685.3	1175.8	488.9	2.402	2.484	12.9	3.3	16.2	79.6	1183	118.30	31			
標準・水浸	13	6.0	6.4	1184.1	689.9	1185.4	494.2	2.396		14.1	2.8	16.9	83.4	1144	114.40	39			
	14		6.4	1179.0	686.1	1181.6	492.9	2.392		14.1	3.0	17.1	82.5	1304	130.40	35			
	15		6.3	1168.2	681.0	1169.0	487.2	2.398		14.1	2.7	16.8	83.9	1249	124.90	35			
	平均		6.37	1177.1	685.7	1178.7	491.4	2.395	2.465	14.1	2.8	16.9	83.3	1232	123.23	36			

--	--	--	--

マーシャル安定度試験 (その2)

試験
報告 用紙

試料番号 S1-1(3.00m~3.70m)

試験年月日 2019年12月10日

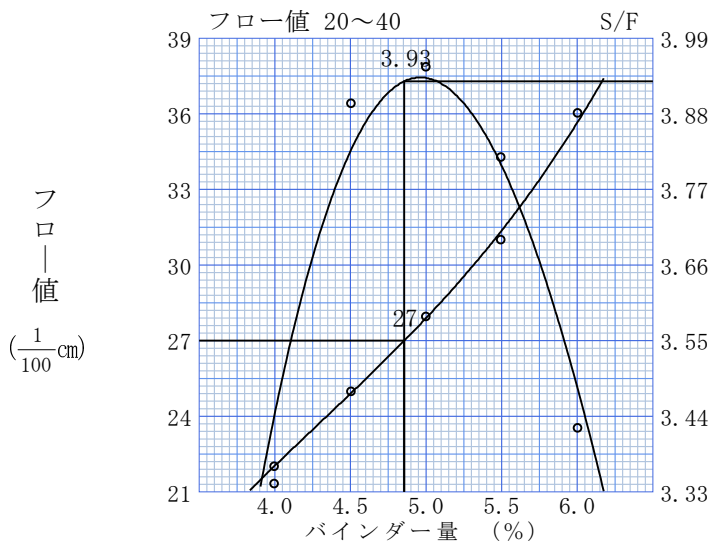
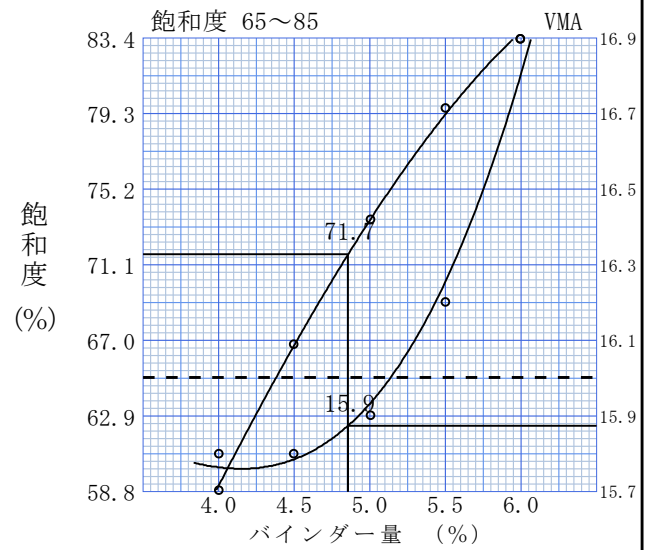
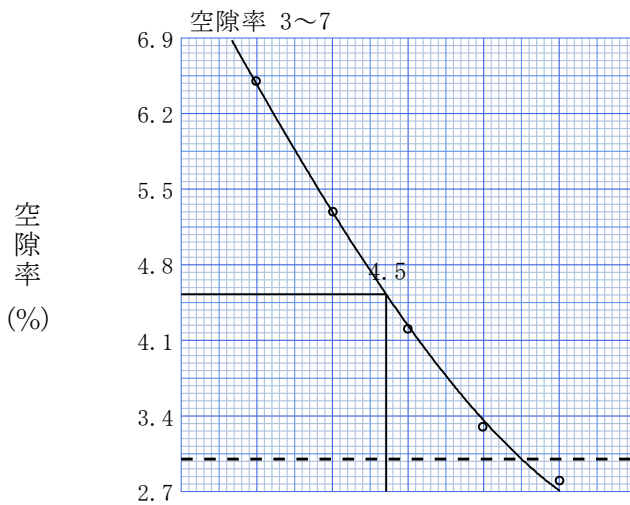
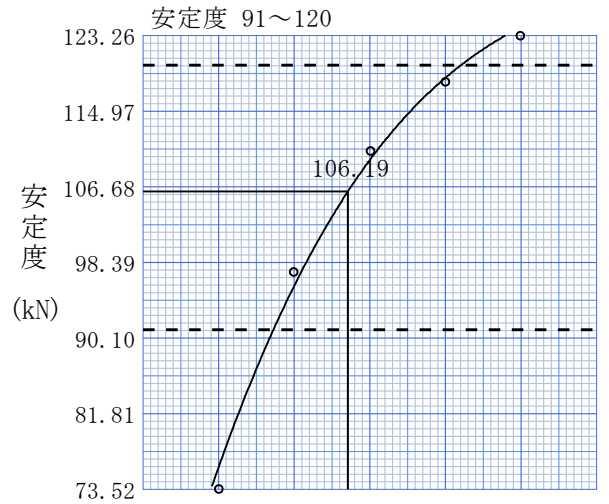
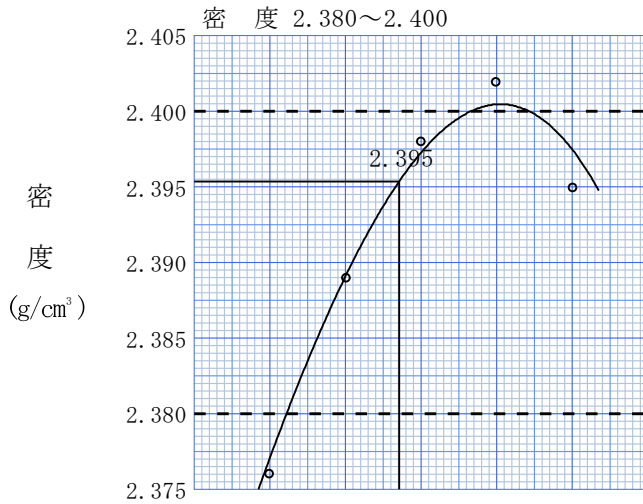
SYSTEM21 最高級プロフェッショナル土質調査解析ソフト

調査名・目的 長年の実績で信頼と安定したソフトを実現

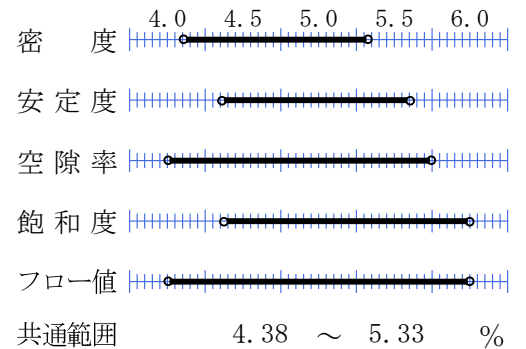
混合物の使用場所 歩道

混合物の種類 粗粒度アスコン

試験者 井上 幸子



最適バインダー量の決定



最適バインダー量 4.85 %